



安全データシート

1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: クロロ IPC「石原」(IPC 乳剤)
- 1.2 用途: 除草剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
-6206
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部
電話:06-6444-7152
- 1.5 作成日: 1995年9月5日
改訂日: 2024年3月15日^⑫

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

2 危険有害性の要約

2.1 化学品の GHS 分類

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアルによる分類(改訂6版)

物理化学的危険性:

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分3
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2(中枢神経系、腎臓、視覚器、血液、全身毒性)、区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(中枢神経系、視覚器、血液、呼吸器)
誤えん有害性	区分1

環境に対する有害性:

水生環境有害性 短期(急性)

区分2

水生環境有害性 長期(慢性)

区分2

オゾン層有害性

分類できない

2.2 GHS ラベル要素

JIS Z 7253 / GHS 分類マニュアル(第6改訂版)による表示

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険/警告

危険有害性情報:

- H226 引火性液体および蒸気
- H319 強い眼刺激
- H351 発がんのおそれの疑い
- H360 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- H371 中枢神経系、腎臓、視覚器、血液または全身毒性の障害のおそれ
- H336 眠気またはめまいのおそれ
- H373 長期にわたる、または反復ばく露による中枢神経系、視覚器、血液または呼吸器の障害のおそれ
- H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H411 長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き:

【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

- P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。— 禁煙
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。
- P264 取扱い後は手をよく洗うこと。
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- P271 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。
- P273 環境への放出を避けること。

【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

- P303+P361 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／
- +P353 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- P370+P378 火災の場合: 消火に粉末・炭酸ガス・泡消化剤を使用すること。
- P305+P351 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- +P338
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P308+P311 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- P301+P310 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
- P331 無理に吐かせないこと。
- P391 漏出物を回収すること。



安全データシート

【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物/容器を/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	クロロプロファミ		鉱油		
	化学名	含有率	トリメチルベンゼン	ナフタレン	その他
化学名	イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメート	45.8%	0.4~4.0%	2.0~6.0%	30.2~37.8%
官報公示整理番号 化審法	(3)-3217		(3)-7	(4)-311	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	4-(6)-45		公表 (トリメチルベンゼン)	公表	全成分登録保証
CAS No.	101-21-3		95-63-6 108-67-8 526-73-8	91-20-3	非公開

(続き)

一般名	有機溶剤・界面活性剤等		
	化学名	含有率	その他
化学名	メタノール	2-プロパノール	その他
含有率	20%	30%	90%
官報公示整理番号 化審法	(2)-201	(2)-207	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	公表	公表	全成分登録保証
CAS No.	67-56-1	67-63-0	非公開

4 応急措置

4.1 応急措置の記載

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当を受けること。

皮膚に付着した場合:

直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合:

空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

飲み込んだ場合:

直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

4.2 最も重要な兆候及び症状:

データなし

4.3 医師に対する特別な注意事項:

データなし

5 火災時の措置

5.1 適切な消火剤:

粉末、炭酸ガス、泡消火剤

5.2 使ってはならない消火剤:

噴流水

5.3 特有の危険有害性:

燃焼時、有毒ガス(HCl、NOx等)が発生する。



安全データシート

5.4	特有の消火方法:	小さな火災の場合は、粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。 大規模火災の場合は、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。
5.5	消火を行う者の保護具及び予防措置:	消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行かない有害ガスの吸入を避ける。
<hr/>		
6	漏出時の措置	
6.1	人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	適切な保護具を着用する。 多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
6.2	環境に対する注意事項:	環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
6.3	封じ込め及び浄化の方法及び機材:	少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させて回収する。 大量の場合は、流出を土嚢等により止め、周辺にロープ等を張って火気を遠ざけると共に関係者以外は立入禁止として保護具を着用して回収する。
6.4	二次災害の防止措置:	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 安全に対処できるならば漏洩を止めること。 漏出物を回収すること。
<hr/>		
7	取扱い及び保管上の注意	
7.1	取扱い:	危険物第4類第2石油類なので、消防法の定めに従って取り扱うこと。
	技術的対策:	容器を接地しアースをとること。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
	安全取扱い注意事項:	保護手袋／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用すること。 ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 屋外または換気のよい場所でのみ使用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	接触回避:	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。一禁煙
	衛生対策:	取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
7.2	保管:	危険物第4類第2石油類なので、消防法の定めに従って保管すること。
	安全な保管条件:	換気のよい場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。 施錠して保管すること。 吸湿しないように、密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない場所で保管すること。
	安全な容器包装材料:	データなし
<hr/>		
8	ばく露防止及び保護措置	
8.1	許容濃度等:	
	管理濃度:	メタノール 200 ppm 2-プロパノール 200 ppm ナフタレン 10 ppm
	日本産業衛生学会(2016年版):	メタノール 200 ppm、260 mg/m ³ 2-プロパノール 400 ppm、980 mg/m ³ トリメチルベンゼン(全異性体) 25 ppm、120 mg/m ³
	ACGIH TLV-TWA(2017年版):	メタノール 200 ppm 2-プロパノール 200 ppm ナフタレン 10 ppm



安全データシート

トリメチルベンゼン(全異性体) 25 ppm

8.2 設備対策: 局所排気装置

8.3 保護具:

呼吸用保護具: 有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器
手の保護具: ゴム手袋・ビニール手袋
目、顔面の保護具: ゴーグル
皮膚及び身体の保護具: 保護服、ゴム長靴

9 物理的及び化学的性質

9.1 物理状態: 可乳化油状液体
9.2 色: 黄褐色透明
9.3 臭い: 僅かに特異な臭い
9.4 融点/凝固点: データなし
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし
9.6 可燃性: 可燃性液体
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界: データなし
9.8 引火点: 32 °C
9.9 自然発火点: データなし
9.10 分解温度: データなし
9.11 pH: データなし
9.12 動粘性率: データなし
9.13 溶解度: 水に乳化分散
9.14 n-オクタノール/水分配係数: データなし
9.15 蒸気圧: データなし
9.16 密度及び/又は相対密度: データなし
9.17 相対ガス密度: データなし
9.18 粒子特性: データなし

10 安定性及び反応性

10.1 反応性: データなし
10.2 化学的安定性: 通常の条件下で安定
10.3 危険有害反応可能性: データなし
10.4 避けるべき条件: データなし
10.5 混触危険物質: データなし
10.6 危険有害な分解生成物: 燃焼により、HCl、NO_x 等が生成する。

11 有害性情報

11.1 急性毒性: 経口 LD₅₀ 5040 mg/kg (ラット♂)、4610 mg/kg (ラット♀)
経皮 LD₅₀ >2000 mg/kg (ラット♂、♀)
吸入 データなし
11.2 皮膚腐食性/刺激性: データなし
11.3 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 刺激性あり(ウサギ、クロロプロファミ)
11.4 呼吸器感作性又は皮膚感作性: 皮膚感作性:なし(モルモット)
11.5 生殖細胞変異原性: 呼吸器感作性:データなし
11.6 発がん性: データなし
11.7 生殖毒性: ナフトレン(区分2)を2.0~6.0%含有することから、区分2とした。
11.8 特定標的臓器毒性(単回ばく露): メタノール(区分1B)を2.0%含有することから、区分1Bとした。
11.9 特定標的臓器毒性(反復ばく露): メタノール(区分1:中枢神経系、視覚器、全身毒性)が2.0%含まれること、2-プロパノール(区分1:中枢神経系、腎臓、全身毒性)が3.0%含まれること、ナフトレン(区分1:血液、眼、呼吸器)が2.0~6.0%含まれることから区分2(中枢神経系、腎臓、



安全データシート

- 11.10 誤えん有害性: 視覚器、血液、眼、呼吸器)とした。また、区分 3(麻酔作用)の
鉱油として 40.2 %を含むことから区分 3(麻酔作用)とした。
メタノール(区分 1:中枢神経系、視覚器)が 2.0 %含まれること、
ナフタレン(区分 1:血液、眼、気道)が 2.0~6.0 %含まれること
から区分 2(中枢神経系、視覚器、血液、気道)とした。

12 環境影響情報

- 12.1 生態毒性: 水生環境有害性 短期(急性)
コイ LC₅₀ 10.9 mg/L(96 時間)
オオミジンコ EC₅₀ 16 mg/L(48 時間)
* 区分 2 の鉱油として 40.2 %を含むことから区分 2 とした。
水生環境有害性 長期(慢性)
データなし
* 区分 2 の鉱油として 40.2 %を含むことから区分 2 とした。
- 12.2 残留性・分解性: データなし
12.3 生体蓄積性: データなし
12.4 土壤中の移動性: データなし
12.5 オゾン層への有害性: 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13 廃棄上の注意

- 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
- 13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(HCl、NO_x等)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所
で法・条例に従って安全に処理する。
- 13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

14 輸送上の注意

- 14.1 国連番号: 1993
品名: Flammable, liquid, n.o.s.(クロロプロファミ)
国連分類: 3
容器等級: III
- 14.2 海洋汚染物質: 該当
- 14.3 MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸
送される液体物質: 有害液体物質(X 類)
トリメチルベンゼン(全異性体)
- 14.4 輸送又は輸送手段に関する 危険物第 4 類第 2 石油類・引火性液体であり、消防法の定めに従う。
特別の安全対策: 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよ
う積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。
- 14.5 国内規制がある場合の規制 陸上規制情報 危険物第 4 類第 2 石油類・引火性液体であり、消防法の
情報: 定めに従う。
航空規制情報 航空法の規制に従う
海上規制情報 船舶安全法の規制に従う
- 14.6 応急措置指針番号: 128

15 適用法令

- 農薬取締法: 農薬登録番号 第 7693 号
毒物及び劇物取締法: 該当しない
消防法: 危険物第 4 類第 2 石油類(非水溶性)
労働安全衛生法: 第 57 条(表示対象物質)
メタノール
イソプロピルアルコール
ナフタレン
トリメチルベンゼン



製品名: クロロ IPC「石原」(IPC 乳剤)

SDS No. A-1033

安全データシート

作成日 1995年9月5日

JIS Z 7253/GHS 分類マニュアル(改訂6版)に準拠

改訂日 2024年3月15日⑫

化審法:	クロロプロファミン(令和7年4月1日以降) 第57条の2(通知対象物質) メタノール イソプロピルアルコール ナフタレン トリメチルベンゼン クロロプロファミン(令和7年4月1日以降) 優先評価化学物質
化管法:	ナフタレン(第76号) 1,2,4-トリメチルベンゼン(第49号) 第1種指定化学物質 ナフタレン(管理番号: 302) 3.6%(2.0~6.0%) トリメチルベンゼン(管理番号: 691) 1.7%(0.4~4.0%) IPC(イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメート)(管理番号: 586) 45.8%(2023年4月1日以降、化管法第1種指定化学物質) 第2種指定化学物質 該当しない

16. その他の情報

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス株の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話

(大阪)

072-727-2499(情報料無料)

365日24時間対応

(つくば)

029-852-9999(情報料無料)

365日24時間対応

中毒110番 医療機関専用有料電話

(大阪)

072-726-9923(1件2000円)

365日24時間対応

(つくば)

029-851-9999(1件2000円)

365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253:2019に基づいて作成しています。

SDS 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部

電話:06-6444-7152

SDS 承認部門

三重県四日市市石原町1番地

石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ

電話:059-345-6205

FAX:059-345-6206

記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。